

学友会より

学友会歴代役員

年 度	会 長	委 員 長	運 動 部 長	文 化 部 長	会 計 委 員
昭和26年度	高野 与己				
〳 27年度	伊藤 泰一	小林 司	鳥居 俊雄	斉藤 秀晃	丸山 司郎
〳 28年度	〳	武藤 輝一	高橋 務	鶴生川守雄	岡町 泰
〳 29年度	伊藤 辰治	坂井 昭夫	石原 昭	横山 芳郎	竹山 勇
〳 30年度	〳	桜井 淑史	堀田 利雄	池田 忠雄	山崎 岐男
〳 31年度	〳	関 剛	前田富士雄	山宮 克巳	大石 正夫
〳 32年度	〳	杉本 一則	本田 純男	石川 喜一	曾我 淳
〳 33年度	〳	広沢 光郎	藤倉 一郎	草間 光俊	大塚 為和
〳 34年度	〳	浦野 力	平田 幸男	岩淵 真	藤井 健策
〳 35年度	松田 勝一	小船井良夫	岩崎 尚弥	山浦 鉄夫	横山 正義
〳 36年度	〳	斎藤 四郎	大山 修身	遠藤 晃	中条 節男
〳 37年度	〳	河路 明男	杉田 茂仁	大石 正晃	石田 良平
〳 38年度	〳	塚田 浩治	高宮 治生	諸橋 正昭	北条 泰輔
〳 39年度	野崎 秀英	益子 和徳	田沢 賢治	布川 修	清水 順也
〳 40年度	〳	宮下 正弘	春谷 重孝	篠原 利男	斎藤 隆三
〳 41年度	山内 峻呉	藤野 秀策	田山 満男	高木 敏之	小林 勲
〳 42年度	〳	石塚敬太郎	亀山 宏	新井 仁	新垣 学
〳 43年度	三国 政吉	設楽 篤幸	柳田 孝彦	佐藤 一明	大谷 信一
〳 44年度	大鶴 正満	宮村 達雄	斎藤 寿一	内藤 信行	野沢 晃一
〳 45年度	〳	酒井 真英	大沢 義弘	太田 隆志	関 利明
〳 46年度	〳	藤田 敏雄	岡田 俊治	本池 洋二	吉川 昭
〳 47年度	〳	古賀 良生	小池 哲雄	鈴木 順夫	須永 隆夫
〳 48年度	北村 四郎	吉沢 浩志	尾崎 進	中野 正春	小西 徹
〳 49年度	宮村 定男	市田 隆文	梶野 徹	塚田 一博	山際 岩雄
〳 50年度	〳	阿部 正	浅井 忍	小柳 清光	鈴木 賢史
〳 51年度	〳	吉川 時弘	牧 裕	鈴木 孝明	吉成 仁見
〳 52年度	〳	山本 康行	矢口 輝仁	谷沢 龍彦	松尾 仁之
〳 53年度	渡辺 巖一	成澤林太郎	佐藤 信昭	大柿 徹	島垣 齐
〳 54年度	〳	日野 佳昭	朴 鐘大	丸山 晋司	広川 恵子

昭和55年度	渡辺 巖一	小沢 幸弘	小板橋 宏	齊藤 徹	田先由紀子
〃 56年度	〃	森 宏	林 賢	湯口 琢磨	竹田 弘
〃 57年度	茂野 録良	西 慎一	中嶋 祐一	田中 朝雄	伊藤 清
〃 58年度	〃	加藤 博之	丸山 倫夫	内山 睦	庭野 慎一
〃 59年度	〃	山本 智章	梶川 真樹	金子 晃一	吉澤 豊久
〃 60年度	〃	伊藤 拓緯	吉沢 昭	古寺 利彰	建部 祥
〃 61年度	大西 義久	高橋 美德	関口 秀隆	小林 武弘	樋口 砂里
〃 62年度	〃	加藤 公則	飛田 俊幸	村越 毅	大塚 和朗
〃 63年度	〃	名村 理	渡辺 竜助	坂本 龍彦	小宅 睦郎
平成元年度	〃	藤田 亘浩	大谷 哲郎	田中 純太	大倉 裕二
〃 2年度	武藤 輝一	平田 丞	大橋 学	瀧澤 正浩	新野 浩子
〃 3年度	〃	花澤 秀行	齋藤 義之	諸田 哲也	五十嵐幸絵
〃 4年度	柴田 昭	角南 栄二	吉村 淳一	小須賀基通	小原澤明子
〃 5年度	〃	長倉 成憲	豊島 勝昭	菊池千鶴男	斎藤 俊英
〃 6年度	荒川 正昭	山崎 哲	北原 洋	加納 恒久	津久井宏行
〃 7年度	〃	内田 靖之	渡辺 慶	高橋 直樹	古山 礼子
〃 8年度	〃	内藤 哲也	伝田 博司	青木 賢治	永田 裕子
〃 9年度	〃	中枝 武司	小澤 拓也	首村 守俊	菅原 和子
〃 10年度	岩淵 眞	上村 顕也	渡辺 聡	岡崎 健一	濱 ひとみ
〃 11年度	〃	三浦 崇	三浦 理	岡田 英	水島 由貴
〃 12年度	山本 正治	芳澤 淳一	森 俊平	向井 玄	竹内 明子
〃 13年度(前)	〃	中野 雅人	百瀬 能成	北嶋 俊樹	斎藤 朋子
〃 13年度(後)	〃	古谷 健太	岩崎 友洋	宮下 光弘	土谷 美和
〃 14年度	〃	松井 亨	庄司 寛和	野村久美子	柏木 静
〃 15年度	〃	荒川 博之	佐藤 信宏	本多 正幸	吉田 千絵
〃 16年度	〃	前田 知世	藤井 俊英	平石 尚久	菅沼 大
〃 17年度	〃	白木 健悠	志藤 宏計	石澤 正博	酒井 理恵
〃 18年度	内山 聖	小松原孝夫	塚野 浩明	鈴木 翼	仲川 真由
〃 19年度	〃	高本 大路	白石 英晶	高橋 駿介	浜野由花子
〃 20年度	〃	文 智勇	水流 宏文	中島 翔	河合 裕子
〃 21年度	〃	町田 圭介	高田 一哉	風間 高志	高野 淑美
〃 22年度	高橋 姿	蛭間 弘光	相馬 大輝	米山 俊之	桑俣 貴恵
〃 23年度	〃	安藤昭一朗	鈴木 啓資	工藤 千佳	原田 瑞生
〃 24年度	〃	宜保 智樹	平井悠一郎	河辺 啓太	町田枝里華
〃 25年度	〃	本間 博文	長櫓 宏規	永井 貴大	黒澤めぐみ
〃 26年度	牛木 辰男	稲葉 聡	塩崎 陽香	村岡 拓磨	竹田 遼

平成27年度	牛木	辰男	今井	啓太	上石	稜	荻根	沢真也	大関	墨
ゝ 28年度	牛木	辰男	染谷	拓郎	大久保	升誉	田中	奨	王	培冰
ゝ 29年度	牛木	辰男	島田	哲郎	谷口	環	中島	幸彦	松原	良樹
ゝ 30年度	染矢	俊幸	小柴	多郎	宇敷	雅人	柳井	謙佑	栗田	菜花
令和元年度	染矢	俊幸	諸田	優介	浅見	大輔	榊原	尚敬	土田	紗愛
ゝ 2年度	染矢	俊幸	佐竹	優紀	楨	廉	高橋	瑞喜	原	知花
ゝ 3年度	染矢	俊幸	川澄	駿	今道	仁	劉	炯毅	北神	桃子
ゝ 4年度	染矢	俊幸	久住	宙晃	保坂	拓海	佐藤	耕太郎	小居	結
ゝ 5年度	染矢	俊幸	櫻井	優馬	弘瀬	智也	古澤	龍ノ輔	長谷川	愛理
ゝ 6年度	佐藤	昇	葉袋	理帆	出山	文策	関	沙耶香	近藤	未来
ゝ 7年度	佐藤	昇	高橋	拓人	大平	直輝	山口	絃生	川島	舜

医学部医学科学会小史

医学部医学科学会は、先輩の絶えざる努力と精進により、輝かしい歴史と伝統を築き上げてきた。ここにその変遷を辿り、学友会の歩みの跡を述べてみたいと思う。

明治43年9月、第1回生入学式と共に学友会の前身である「攻瑤会」が創立。会長に学長池原康造内科教授が就任。10月24日校内庭球部大会が開催されその活動を開始した。大正元年12月15日機関誌「攻瑤会雑誌」第1号が発刊され、以後大正11年新潟医科大学開設に伴う学友会発足迄の間20号を数えた。

官立新潟医科大学時代

大正11年4月1日、単科医科大学として発足。これに伴い攻瑤会に代って新潟医科大学学友会の設立がなされ、大正12年には、すでに学友会が結成されていた。結成と同時に会則が定められ、学芸関係では文芸部、音楽部、弁論部、スポーツ関係では庭球部、水泳部、旅行(山岳)部、陸上競技部、弓道部、スキー部の10部が設けられ、会長には初代医科大学長富永忠司内科教授が推された。

昭和6年3月31日、富永学長から学友会解散の命が下される。当時の世相、思想的な問題等々極めて重大な事態にあったようだ。これと共に大正15年6月、第1号を発刊した文芸雑誌「鼓動」は純文芸雑誌から出発し、次第に学友会会報的性格をもつようにな

り、学友会各部部報を収載し始めていたのである。

学友会解散以後昭和21年に至る迄学友会は存在せず学生は各々好むところに従って同好の士を募り、教職員・学生が一体となって親睦と学業の余暇を楽しみ合い、その数は昭和15年1月現在30団体の多きに達していた。しかし軍部の独裁が強化されると共に自由な活動も制限を受け、学内諸団体の解散が行われ、昭和16年4月15日、新潟医科大学報国団の結成をみるに至る。各部は班という名に変わり、学生、生徒は必ず一つ以上の班に加入せねばならなくなった。しかし従来の自由なクラブ活動は一片の規則に変わることなく脈々と生き抜いて来たのである。

昭和20年、敗戦後の深刻なインフレにもかかわらず報国団のクラブ活動から脱皮した学友会の復興が企画され、次々と各部の復活が行われた。

国立新潟大学医学部時代

昭和20年5月31日、新潟医科大学は国立新潟大学の医学部として統合され、学友会も今日の新潟大学医学部学友会となり、昭和26年11月1日会則制定をみ、昭和38年3月1日全部改正を行い、現在に至っている。

以上、概略を述べてみたが、詳細については「新潟大学医学部50年史」、「新潟大学医学部75年史」、「攻瑤会雑誌」ならびに「鼓動」その他各雑誌を参照されたらよいと思う。

医学部医学科学友会の現状

総 会 員 数 965人
正 会 員 数 817人
特 別 会 員 数 148人

学 友 会 役 員

会 長 佐藤 昇
委 員 長 高橋 拓人
副 委 員 長 大平 直輝
山 口 絃生
会 計 委 員 川島 舜
監 事 赤岩 光明
今坂 駿介
大塚 陽介
片山 大地
木村 美菜
佐々木 萌
芹澤 寛人
仁多見 元
間中 真悠
矢野 雄祐
吉田 圭佑

石井 扶堯
梅津賢士朗
小野 大志
金 亨鎮
小輪瀬絃平
島津 花夏
田尻 一修
古川 和樹
溝口 真桜
山岸 峻也
渡部裕太郎

運 動 部

部 名	顧 問 教 員 名	責 任 者
準 硬 式 野 球 部	阿部理一郎 教授	山藤 成将
軟 式 庭 球 部	高橋 昌 特任教授	桐生幸之助
硬 式 庭 球 部(男)	寺井 崇二 教授	中村 元紀
硬 式 庭 球 部(女)		吉津 舞音
軟 式 野 球 部	堀井 新 教授	小西 翔太
サ ッ カ ー 部	柏村 健 准教授	安藤 健太
ラ グ ビ ー 部	大石 誠 教授	元木 健吾
ゴ ル フ 部	松田 健 教授	佐藤 旺河
陸 上 競 技 部	柿田 明美 教授	清水 克祥
ス キ ー 部	馬場 洋 教授	長谷 海惺
ワンダーフォーゲル部	木下 義晶 教授	成沢 志温
バスケットボール部(男)	池内 健 教授	松田 希
バスケットボール部(女)	池内 健 教授	藤林 孝予
バレーボール部(男)	小野寺 理 教授	青木 一翔
バレーボール部(女)	小野寺 理 教授	吉田 優萌
バドミントン部	西山 慶 教授 (救急集中治療医学)	堀 陽向
卓 球 部	石川 浩志 教授	原田 明
水 泳 部	曾根 博仁 教授	高橋 諒成
柔 道 部	若井 俊文 教授	田尻 一修
空 手 道 部	菊地 利明 教授	野澤真太郎
剣 道 部	猪又 孝元 教授	齋藤 樹
弓 道 部	齋藤 昭彦 教授	田崎 雄士
魂 舞	佐藤 昇 教授	石口 和果
ボ ー ト 部	西山 慶 教授 (救急集中治療医学)	五十川 凜

文 化 部

部 名	顧 問 教 員 名	責 任 者
オーケストラ部	岡崎 史子 教授	山口絵実里
合 唱 部	井口清太郎 特任教授	阿部 純希
E S S 部	吉原 弘祐 教授	金崎 礼生
軽 音 楽 部	鈴木雄太郎 (非常勤講師)	中野 咲笑
写 真 部	芝田 晋介 教授	菅原 千寛
俳 句 部	高塚 尚和 教授	島津 花夏
コ ン プ ュ ー タ 部	奥田修二郎 教授	村山 珠美
美 術 部	松本 壮吉 教授	片岡 暁人
茶 道 部	林 孝文 教授	馬場 湧大
		松澤耕太郎

同 好 会

部 名	顧 問 教 員 名	責 任 者
すもぅ同好会	庄司 圭介 助教	佐々木 慧

学友会って何？

高校生までは（予備校もでしょうか）、「生徒」と呼ばれるので、「生徒会」では、大学では？

「学生」だから「学生会」…と思いきや、実は学生会という組織はまた別にあります。高校まででいう「生徒会」にあたるものを、新潟大学では「学友会」と呼びます。会員は新潟大学医学部の学生全員が中心であり、学年やクラブの自主的な活動を統率していく自治体のようなものと考えていただければよいでしょう。高校には生徒会が主催する行事があったように、大学にも学友会が主催する行事があります。以下に、新潟大学医学部学友会の主な活動を紹介します。

4月 新入生歓迎会

今この学友会誌を読んでいる新入生の皆さんは、もうきっとこの会の恐ろしさ（楽しさ？）を感じている事でしょう。入学手続きの際もらった資料には「学友会ガイドランス」などと書いてあったでしょうか。連れられるがままに講義室に入り、白衣のお兄さん・お姉さんから飲み物とお菓子が配られ、挨拶がある所まではよかったものの、各クラブの紹介というコーナーになったとたん繰り返される不気味な世界……本当に新入生勧誘のために行われているのか疑問に思えてくる恒例の行事ですが、最近ではクリーンなイメージを打ち出そうというクラブが増えてきており、沈静化の傾向にあるようです。もっとも、ここで大爆笑（主に新入生ではなく在学生によるもの!?)を勝ち得たクラブはかえって新入部員が減少する傾向にあり、新入生の入部を心待ちにしている各クラブからしてみれば当然の流れなのかもしれません。

クラブ紹介が終了してからは、新入生の皆さんが興味を持ったクラブの主催する「夜の歓迎会」にご案内。大学生活のスタートに乾杯しましょう。

5月下旬 医学大運動会

長年行われている伝統行事であり、学年・クラブ対抗で競われる学生競技と、科ごとに競われる先生方の競技とがあります。各医局の先生方はこの日のために看板を作り、応援団を結成し、仮装を披露し、燃えまくりです。普段はcoolな

doctorたちが、この日はとばかりに大はりきり。今年の〇〇先生の仮装は何かしら?? 学生は、仮装や応援の助っ人として先生方のお手伝いをしたりします。そのお礼として夜の古町でおいしい思いができるかも?



7月上旬 東医体結団式

我が新潟大学医学部運動部の1年の最大の目標である東医体は、8月上旬～中旬にかけて開催されます。ここでは、東医体に向けて各クラブが目標を宣言し、互いに健闘を誓い合います。

8月上旬～中旬 東医体夏季大会

我が新潟大学医学部運動部にとって1年で最大の大会です。各クラブが日頃の練習の成果を存分に発揮し、全力で戦います。各クラブの成績を点数化し、総合点で大学毎に毎年総合順位が発表されます。

10月上旬 東医体結果報告式

ここでは東医体でのお互いの健闘をたたえ合って先生方とお酒を飲みながら楽しい時を過ごします。キョーレツな芸は影をひそめました。芸の復活はあるか!?

10月下旬 6年生を送る会

卒業試験を終え、あとは国家試験を残して学生生活を終える6年生の先輩方に、学友会から感謝の気持ちを込めて、試験でのご健闘と更なるご活躍を祈念して執

り行う会です。先生方から直接、あるいはビデオメッセージにて激励のお言葉を頂いたり、ご両親に送って頂いた幼い頃の写真とエピソードを皆で鑑賞しながらお互いの成長ぶりに驚いたり、後輩の作成するクラブでの活躍を描いたスライドの上映会にて各々の歩んだ軌跡を振り返るなど、数々の企画を楽しんでもらいます。最後に割るくす玉には、国試の合格率を反映するとのジンクスがあり、これを用意する学友会監事もヒヤヒヤです。さて、今年は上手く割れたのでしょうか？



3月中旬 東医体冬季大会

いよいよスキー部の東医体出場。学友会からも応援に駆けつけています。

3月下旬 学友会誌発行

皆さんが今、手にされている学友会誌も、昨年の秋頃から企画が始まり、原稿の依頼、広告取り、編集、校正と作業を進め、入学式の日皆さんにお渡しできるよう発行されます。

学友会の1年は、このように過ぎていきます。この間には、各クラブの代表者から主に選出される学友会四役（委員長・運動部長・文化部長・会計委員）や監事の選出があったり、日頃からの大学と学生をつなぐパイプのような仕事をしたりもしています。充実した大学生活を送れるよう、皆さんと一緒に活動していきたいと思っています。頑張りましょう。